

平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)【井上研究室】		授業コード	L120559
担当教員名	井上 正文		科目ナンバリングコード	L31205
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	井上研究室に配属された学生のみ履修することができます。			
受講心得	卒業論文の前段階としての、木質構造に関する基礎的学習及び学びの重要性を理解するため、対話形式や学外での学習も併せて実施する。すべての授業に出席することが重要である。			
教科書	その都度、資料を配布するなどして、提供する。			
参考文献及び指定図書	その都度、適切な図書を紹介する。			
関連科目	構造設計1、研究ゼミナールA			
授業の目的	木質構造に関する卒業論文の基礎的内容を多面的に学習する。			
授業の概要	木質構造に関する基礎から応用までの、多面的に学習する。			

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：木質構造の構法	復習：90分
第2週：構造計画の基本	復習：90分
第3週：木質構造の構造計算	復習：90分
第4週：木質材料	復習：90分
第5週：部材の設計	復習：90分
第6週：接合部の設計	復習：90分
第7週：在来軸組構法の設計	復習：90分
第8週：枠組壁構法の設計	復習：90分
第9週：その他の構法の設計	復習：90分
第10週：大断面木質構造	復習：90分
第11週：伝統木造建築	復習：90分
第12週：木質構造の耐火	復習：90分

第13週：過去の地震被害：阪神大震災	復習：90分
第14週：過去の地震被害：東日本大震災	復習：90分
第15週：過去の地震被害：熊本地震	復習：90分
第16週：口頭による理解確認	復習：90分
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング
地域志向科目	
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自ら学ぶ姿勢を身に着ける
【知識・理解】	卒業研究に取組めるための木質構造に関する基礎知識を身につける
【技能・表現・コミュニケーション】	自分が身に付けた知識を分かりやすく専門外の人に説明できる
【思考・判断・創造】	基礎的知識を使って、自ら課題を認識して、その解決策を思考することができる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			30点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			30点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			10点	
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	身に着けた知識を筋道たてて説明するための資料の作成ができる

発表・その他
(無形成果)

対面での、質問に的確に回答できる